

### 第3章 これからの時代を担う人材を育成する産業教育の在り方

第2章で示した「産業の発展を支える人材に必要な資質・能力」を踏まえ、これからの時代を担う人材を育成する産業教育の在り方について検討し、将来を見据えた産業教育の目標を設定するとともに、産業教育の質を保証するために取り組むべき内容について、様々な視点からまとめた。

#### 1 将来を見据えた産業教育の目標

- ① 産業の各分野の社会的意義や役割を踏まえた専門的知識・技術の習得
- ② 産業の各分野における課題を発見し、職業人としての倫理観をもち、合理的かつ創造的に問題解決する力の育成
- ③ 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度の育成

#### 2 産業教育の質を保証・向上するための視点

- ① 専門性の高い知識・技術の定着
- ② 様々な課題に対応できる課題解決能力の向上
- ③ 産業現場等における実践的学習活動の一層の充実
- ④ 多様な進路に応じた教育課程の構築
- ⑤ 教員の資質向上
- ⑥ 学科の特性を踏まえた方策
  - ・ ニーズを踏まえた学習内容の充実
  - ・ 職業学科に関する理解の促進
  - ・ 実習用施設・設備の充実
  - ・ 産業の複合化\*への対応

\*産業の複合化：産業分類の大分類（農業、林業、建設業、製造業、情報通信業、金融・保険業、医療・福祉等）の枠を越えて、複数の産業の企業が連携して事業を興したり、ひとつの企業が複数の産業に関連したりすることによって、産業が複合的になること。生産（1次）、加工（2次）、販売（3次）まで一体的に取り組むようになる6次産業化も産業の複合化のひとつである。